

PERSONAL TIMER

磁気センサーで自動計測

ストップウォッチの‘手軽さ’と

光電管の‘正確さ’を実現

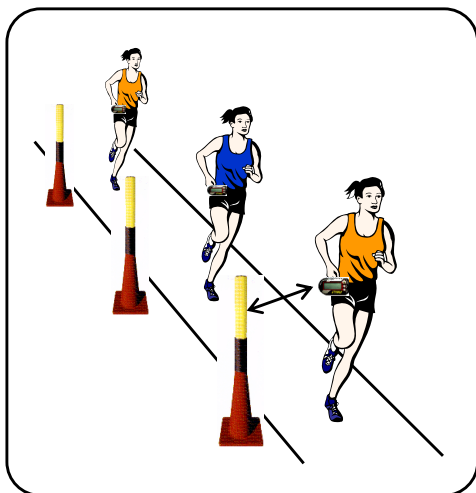
パーソナルタイマー

定価¥15,000



マグネットバー

定価 ¥35,000



1999年9月25日にNHK『スポーツ教室』にて放映されました。

特長

- マグネットバーの磁気をタイマーが感知し、自動的にタイムを計測します。
- ペース走やタイムトライアルなど実施する際に、記録を測定する人が不在でも手軽に行えます。
- 磁気はタイマーを装着した人だけに反応するので実施者以外の選手が入っても影響ありません。
天候の影響も受けません。
- 簡単なセッティングで、非常に精度の高いデータを収集できます。
- マグネットの磁気で反応するので電源は不要です。

● 下記の皆様に使用して頂いています

国立スポーツ科学センター・地方陸上競技協会
日本サッカー協会・Jリーグ / 鹿島アントラーズ
清水エスパルス・セレッソ大阪・大宮アルティージャ
川崎フロンターレ・ヴィッセル神戸・横浜Fマリノス
東京ヴェルディ1969・浦和レッズ・JYSO(アメリカ)
平成国際大学スポーツ科学研究所・実業団ラグビー
日本ラグビーフットボール協会・医科学研究所・
教育委員会・大学・高校中学校・ほか多数

あらゆるスポーツの
スピードトレーニングを
効率化します

パーソナルタイマーを有効に活用することで、コーチはコーチングに
選手は競技に集中し、トレーニングのパフォーマンスを高めることができます。

パーソナルタイマーを装着した人だけに反応 トラックを供用中でも影響なく計測できます

パーソナルタイマーは、「より速く、より高く、より美しく」を目指すあらゆるスポーツのトレーニングシーンを変える、画期的な携帯型自動計測タイマーです。スタート直後の20メートル、ゴール直前の20メートルなど、計測したい箇所にマグネットバーを置くだけ。パーソナルタイマーを携帯する競技者が、このマグネットバーを通過するたび、磁気センサーにより自動的に、かつ正確にタイムが計測されます。計測モードは*¹ベストタイムと*²スプリットタイムがありベストタイム、トータルタイムを合わせて99回までメモリーします。

※1ベストタイム表示・・・各計測区間の区間タイムとベストタイムを表示します

※2スプリットタイム表示・・・各計測区間の区間タイムと全区間のトータルタイムを表示します

使用方法

パーソナルタイマーを腰に装着し、タイマーの電源をオンにし、マグネットバーの横を走るだけです。セッティングも計測も簡単にでき、非常に精度の高いデータを収集することができます。

■ 計測に必要な用具

必要なのは、磁気を発する「マグネットバー」と、それを感知して自動的に記録する「パーソナルタイマー」の2種類の用具です。

パーソナルタイマーは使い回しをすれば1個でも可能です。

大勢の計測をするときは、何個かあれば短時間で効率よく計測できます。

マグネットバーは、これを通過することにより記録が測定されるので、最低2本は必要となります。

■ 長距離種目も跳躍種目も

ハードル種目でもOK !!

マグネットバーの設置の仕方や本数を工夫することで、得られるデータの種類を増やすことも可能です。

あらゆるスポーツに活用できます

陸上・サッカー・野球・ラグビー

アメフト・スキー・スケート・自転車

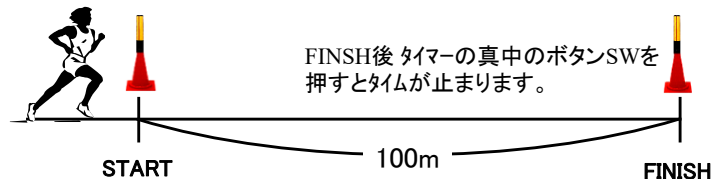
車椅子レース・クロカン・他...

★パターン1

パーソナルタイマー人数分(1個で兼用可能)
マグネットバー × 2 (スタート用1、フィニッシュ用1)

⇒得られるデータ

①10m助走での100mタイムトライアル記録



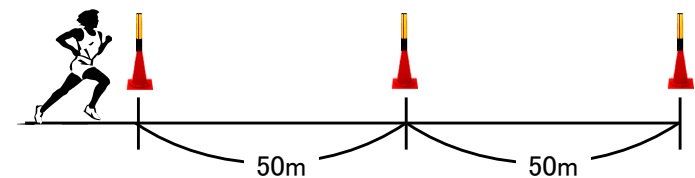
★パターン2

パーソナルタイマー人数分(1個で兼用可能)
マグネットバー × 3 (スタート用1、フィニッシュ用1、途中計時用1)

⇒得られるデータ

①10m助走での100mタイムトライアル記録

②50mごとの記録・・・前後半のスピード比較



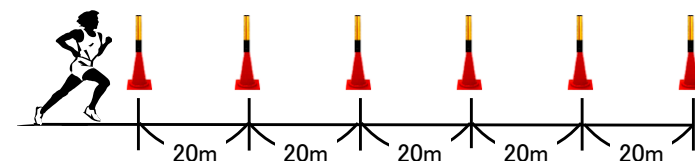
★パターン3

パーソナルタイマー人数分(1個で兼用可能)
マグネットバー × 6 (スタート用1、フィニッシュ用1、途中計時用4)

⇒得られるデータ

①10m助走での100mタイムトライアル記録

②20mごとの記録・・・20mごとのスピード変化を分析できる



図ー10m助走につき100mタイムトライアルにみるセッティングパターンとそれによって得られるデータ

正確なタイムの測定が簡単に実現

!!